

令和7年度 弁天池公園 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和6年度

施設のサービス水準の視点コメント

昨年度同様に、春のスプリングカーニバル及び秋のふれあい感謝祭等の様々なイベントを開催され、地域コミュニティの推進と世代間交流を深められる機会を与えられたことは評価できることである。また、公園施設を利用し心身ともにリフレッシュされる近隣住民や他市からの公園利用者のために、公園施設管理や弁天池の水質管理等を常時行っていることに加え、公園内外の美観を意識した自然環境の保護についても、利用者のニーズを捉えた業務を遂行しているものと感じられる。今後においても、できる限り利用者のニーズに対応できる公園管理を進められたい。

収支状況 コメント

公園施設修繕等の維持管理業務が増加する中で、公園管理技術の知識・経験のある会員を従事させることや、廃材等を有効利用するなど様々な工夫ををされ、支出を抑え効率よく業務を遂行されていることは評価できる。しかしながら、近年の光熱水費の高騰にも対応され、節電、節水等に努められたことは評価できることであるが、漏水箇所の早期発見、対策が遅れ光熱水費が大幅に増加していることは、今後の課題として対策を講じられたい。今後においても更なる改善を図られ、公園美化の継続や公園施設等の維持管理に努められたい。

市による総合評価 コメント

大型イベントの「スプリングカーニバル」や「ふれあい感謝祭」を実施されたことについては、弁天池公園の存在価値を大いに示したことに加え、地域交流に大きく貢献したものと評価できる。自主事業である「手ぶらバーベキュー」や「いきいき百歳体操」等のイベントも積極的に実施され、これらを様々な媒体を利用し弁天池公園の魅力をアピールされたことは評価できるが、さらに新しい企画を策定し、公園利用者の集客を図り収入源の確保に努められることを期待します。施設管理に関しては、老朽化の進行が懸念されるなか、利用者の安全を常に確保できるよう、公園管理に精通した会員を配置することで公園美化、施設遊具等の適正管理を行い、廃材利用等によるコスト軽減が徹底できているものと判断した。また、水質管理に関しては、常に専門業者を常駐させ更なる維持管理の向上を図っているものと思われる。今後も、市や利用者からの要望を更に充実させるとともに、今後起こりうる突発的な災害にも十分対応できるような体制を確保し、より安全・安心で快適に過ごせるような明るい公園を目指していただきたい。以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされているものと判断した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった